

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2017-09-01

No. 90

株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation
〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2本社・大野木事業所
<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary.....	2
IEC: 規格解説: IEC 61000-3-3 Ed. (3.0) 修正 1 電圧変化,電圧変動及びフリッカー.....	3
IEC: 新規格リスト.....	6
ISO: 新規格リスト.....	8
UNECE: 国際テーマ: 第 172 回会合: 車両規制の整合化に関する世界フォーラム報告書.....	9
国際テーマ: トルコが EU の REACH 指令に似た規則を導入.....	12
国際テーマ: ロシアの市場参入問題はまだ続いている?.....	12
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲.....	13
USA: FCC: KDB: 放射エミッション測定と NSA 測定に使用されるアンテナ校正手順.....	14
USA: FCC: 正誤表—Parts 1, 2, 5, 90, 95 の改正: 76-81 GHz 帯域レーダーサービス.....	14
USA: FCC: ANSI-ASQ 米国適合性認定機関 (ANAB) の承認範囲拡大申請へのコメント.....	15
USA: CPSC: 有機ハロゲン難燃剤を含む製品カテゴリを「禁止有害物質」とすべきか.....	16
USA: EPA: コンピュータサーバ基準バージョン 3.0 の第 2 草案を公表(2017/7/31).....	17
USA: OSHA: 国家認定試験所(NRTL)プログラムの概要 (2/6).....	17
USA: DOE: Apple 社 Microsoft 社等の外部電源試験手順適用免除の申請と暫定免除付与.....	18
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知.....	19
USA: ANSI/UL: 新規格リスト.....	20
USA: IEEE: 新規格リスト.....	21
EU: 整合規格リスト: 一般製品安全指令 2001/95/EC, エネルギーラベリング/ErP 指令.....	24
EU: 無線機器指令に関する FAQ: 2017/8/7 付け更新版の内容紹介.....	24
EU: RED 関連実施規制(EU) 2017/1354: サービス投入に関する制限等がある場合の処置.....	27
EU: 整合規格: EN 60335-2-9:2003 (A13:2010 により修正)の制限付き公開.....	29
EU: EMC ADCO 文書: 事業者用 EMC 情報シートと、EU 適合宣言 (DoC)の例公表.....	30
EU: CENELEC: 新規格リスト.....	31
EU: ETSI: 新規格リスト.....	33
中国: CQC: 車両の動力バッテリーの安全性と電磁適合性の認証への新版規格の実施.....	34
中国: CQC: 外部電源アダプタ、内蔵スイッチング電源等: 安全性及び電磁適合性.....	34
中国: CQC: 地上用結晶シリコン太陽電池モジュールの認証規則の改訂.....	35
中国: CQC: 地上用 PV モジュールの "リーダー"認証規則のバージョン変更.....	35
中国: CQC: 難燃性・耐火性の電線・ケーブルの安全認証規則の改訂に関する通知.....	35
中国: CQC: 食品安全システム (FSSC22000) 認証規則のバージョン変更に関する通知.....	36
中国: 新規格リスト.....	36
台湾: 検査を適用するスピーカーなど二十四項目の商品の関連検査規定の改正通知.....	38
台湾: 検査を適用する玩具商品の関連検査規定を改正し、即日発効.....	38
台湾: 電気機器用スイッチなど 16 項目の製品に実施される自主性製品検証関連規定.....	39
台湾: 冷媒圧縮機など 6 製品の自主的製品への検証の実施の証明書の有効期限の改正.....	39
台湾: 新規格リスト.....	40
韓国: 放送通信分野の国家標準の改正予告.....	40
総務省: 「Connected Car 社会の実現に向けた研究会 検討結果取りまとめ」の公表.....	41
総務省: 先進的な無線システムに関するワーキンググループ (第 6 回) 局所吸収率等.....	41
総務省: 平成 29 年「情報通信に関する現状報告」(平成 29 年版情報通信白書)の公表.....	42
経済産業省: 日本工業規格 (JIS) を制定・改正しました (平成 29 年 8 月分).....	42
経済産業省: インターネット取引における製品安全の確保に関する検討会について.....	43
経済産業省: 先端医療機器 (光線力学的治療機器) の安全性に関する国際規格発行.....	43
経済産業省: 全自動洗濯物折り畳み機の製造、販売に係る電気用品安全法に基づく省令.....	44
厚生労働省: 医療機器の一部変更に伴う軽微変更手続き等の取扱いについて.....	44
ちよつといつぷく〜小クイズコーナー インド強制登録スキームの追加品目について.....	13
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐久試験についてのご案内.....	23
社長の独り言.....	45



IEC: 規格解説: IEC 61000-3-3 Ed. (3.0) 修正 1 電圧変化,電圧変動及びフリッカー

- IEC 61000-3-3 Ed. (3.0) 2017-05 修正 1 が 2017-05 付で発行された。その主な変更内容を報告する。
- 1. 「限度値(5)」内での変更: 限度値適用に関する本パラグラフ項を適用するにあたり、手動スイッチングを備える機器の場合、切り替えが一日当たり 2 回未満か、それを超えるかにより、限度値 b) 又は c) を選択適用するが、その判断には、通常の動作に典型的なスイッチング回数に従い行ふべきという限定句が追加された。
- 2. 「付属文書 A (規制) 個々の機器に対する限度値の適用及び型式試験の条件」内での変更: 従来は「定格 200 W を含めそれ以下の LED ランプ照明器具は、dc, dmax 及び Tmax の限度値を満足するとみなされる、そして、試験は要求されない」とされていたが、それが 600 W までの LED ランプ照明器具には不要と境界値が引き上げられた

UNECE: 国際テーマ: 第 172 回会合: 車両規制の整合化に関する世界フォーラム報告書

- 1. 国際車全両型式承認 (IWVTA) システムの開発
国際全車両型式承認 (IWVTA) システムが開発されている。国際的な全車両型式承認に関する統一規定に関する UN 規制 No. 0、及び、IWVTA が対象とする UN 規制を列挙している附属書 4 への最新の修正が紹介された。
- 2. 1958 年協定 改訂 3
1958 年協定の改訂 3 が入手可能であり、2017 年 9 月 14 日に発効する。従来の内容から大幅な変更がある。(以前の UN 規制により型式承認を発行する可能性、UN 規制の投票多数決閾値の変更と、その 2/3 から 4/5 への修正、仮想テストの可能性の導入 (特定の UN 規制で予見される場合) 等々)

USA: FCC: KDB: 放射エミッション測定と NSA 測定に使用されるアンテナ校正手順

- FCC KDB (知識データベース)より: 放射エミッション測定と正規化サイトアッテネーション (NSA) 測定に使用されるアンテナの校正の手順について

EU: 無線機器指令に関する FAQ: 2017/8/7 付け更新版の内容紹介

- 無線機器指令 (2014/53/EU) と現在廃止された R&TTE 指令 (1999/5/EC) との間の 1 年間の移行期間は、2017 年 6 月 12 日に終了し、2017 年 6 月 13 日現在 新しい RED のみが適用されている。
- 新 RED に対応した整合規格の公表が遅れている。いくつかは移行期間終了間際に公表された。膨大な数の Wi-Fi 製品をカバーする EN 301 893 V2.1.1 も遅い公表であった。例外処置が講じられ 2018/06/12 迄は EN 301 893 v1.8.1 が適合性の推定に使用できる。

EU: 整合規格: EN 60335-2-9: 2003 (A13:2010 により修正)の制限付き公開

- 2017 年 7 月 19 日付け委員会実施決定 (EU) 2017/1357 が発行され、整合規格 EN 60335-2-9: 2003 (A13:2010 により修正)が制限付きで公開された。これは、本規格の温度制限に関する規定が不正確であり、全面的に適用できないとし、取られた処置である。

社長の独り言

平成 29 年 8 月 17 日
濱口 慶一

この年の夏は暑いのか、少し気温が低い冷夏というのか、どうもはっきりしないまま秋を迎えようとしています。

私の自宅は田舎にあります。最近の農村の過疎化に便乗してか、茶畑や田んぼが、また山がソーラーシステムに置き換わってきています。景観が大きく変わるのとは仕方ないとしても、野山の獣達には大きな問題のようで、現在の自宅に引っ越して 15 年程度ですが、一度も姿を観なかった猪や鹿などを昼間から見かけたり、出くわしたりすることも多くなりました。彼らは食糧不足なので里の方に来ているのでしょうか？先日も夕刻に帰宅しますと、門柱付近で 2 匹のうり坊（イノシシの子供）が何かを物色中で、車にびっくりしたのか、1 匹は茶畑に逃げ去り、もう片方は、自宅の屋敷内へ逃げました。捕獲しようという気持ちは無かったのですが、逃げ方が可愛いのでつい追いかけてしまい、相手のうり坊は必至で逃げ回るといって格闘騒ぎになりましたが、運よく？門側に逃げて、山に帰ったようです。しかし翌日、懲りもしないでまた自宅周辺に遊びに来ていたようで、訪ねて来た訪問者の目撃報告がありましたので何か狙っている物が近くにあるようです。

この 8 月は終戦記念日でもあり、またお盆として先祖の供養の日もあります。終戦後の生まれの私には、戦争の実体験はありませんが、7 歳になり義務教育を受ける様になると、私の小学校は自宅から 4km 離れた遠くで、小学校 4 年生までは分校で教育という配慮から、陸軍の病院跡の施設で 3 年間の教育を受けました。その小学校の塀に大きな（10 cm 程度の）穴があちこちに空いていましたが、当時の他人や教師、また先輩からグラマンの射撃で開けられた穴だとよく聞かされたものです。ちょっとした森等で子供が遊んでいると必ず、高射砲の玉（不発弾？）が見つかるような時代でした。そういう環境もあったのか授業の開始時間をきちんと守り、5 分前には席について勉強できるようにして、先生を教室で待つということを、今では考えられないと思うがピンタで教え込まれたことを記憶しています。暴力は絶対に良くないと思うが、社員にはお客様との約束は死守するという姿勢で臨むように教育していきたい。“死守”と書くとは今はパワハラと指摘されそうですが、死守するという受託側の姿勢があるからこそ、いかに無駄作業、無駄時間を無くすかを考え、約束の納期以内での納品を実現できると思うのです。自ら口にしたことは自ら守るのが基本と私は思うのですが、死守はパワハラになるのでしょうか？私はならないと理解して社内教育しています。家内からはきつすぎると批判が多いですが、業務を発注して頂けるお客様に支えられて生かされているコスモスの社長として、次世代に事業を継承して行かなければならない時期に入った以上、次の事業責任者に、納期意識の低い人がなったら（絶対に無いと信じたいが）いつまでも生かされるコスモスでなくなるように思うのです。

最後にいつもの趣味の日本蜜蜂のことですが、日本蜜蜂を自然に増やそうとしている団体があります。色々な形で活動されているので特定の団体だけを書くことはしませんが、森などに巣箱になるように一応日本蜜蜂が快適に暮らせるような箱を置いて、そこに安心して暮らして貰い、群を増やして貰おうという計画のようです。アカリンダニなどで、日本蜜蜂が非常に少なくなっているのは是非、成功していただきたいと思ひますし、養蜂中の日本蜜蜂が分封しても、追いかけて自然に帰っていった、無事に大きな群に成長して下さいねと思うようにしていきます。6 月ころから飼いだした 1 群は、ネットで学んだ“空気殺菌剤”のお陰か、自分たちの幼児を殺して巣箱の外に捨てるような行動を全くとることもなく順調に拡大していますので、秋口には採蜜してご近所に蜂公害のお詫びをしたいと思ひます。何しろ、蜜蜂は体は小さいですがキレイ好きで、巣の外で糞をしますが、どうも白い色の所にするようで、白い色の車の家内の車には黄色い斑点が沢山ついてしまいました。そういうご迷惑をお掛けしているので、蜜蜂には少しだけ蜜をくださいねと心の中で思っています。

● ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation)** 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション CS 部 (カスタマーサービス部) まで sales@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<http://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2017-09-01 (No. 90)

発行所: 株式会社コスモス・コーポレイション 松阪事業所 <http://www.safetyweb.co.jp/>

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄

iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2017 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。